

キイトルーダ®による治療を受けられる患者さんへ

キイトルーダ®治療日誌

あなたが受ける頭頸部がんの治療

☐ キイトルーダ®の単剤療法

単剤

☐ キイトルーダ®と化学療法の併用療法

併用

監修: 神戸大学大学院 医学研究科 外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野

教授 丹生健一 先生

はじめに

治療を順調に進めていくためには、あなたと担当の医師や看護師、薬剤師をはじめとする治療チームとが信頼し合うことが大切です。

そのためには、あなたの体調を治療チームに理解してもらうことが第一歩となります。

この治療日誌は、あなたのご自身の体調を把握し、治療チームに知らせるメモとしてお役立ていただくものです。

ふだんの体調を把握するための「治療日記」と治療チームに伝えたいことや質問したいことを書き留めておく「治療メモ」を掲載していますので、より良い治療のために、ぜひ、お役立てください。

監修：神戸大学大学院 医学研究科 外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野
教授 丹生健一 先生

● 頭頸部がんについて	4
● キイトルーダ [®] について	6
● キイトルーダ [®] と化学療法の併用について	8
● キイトルーダ [®] による治療の前に	10
● キイトルーダ [®] の治療スケジュール	12
● キイトルーダ [®] による治療の注意点	16
● キイトルーダ [®] の特に注意すべき副作用	18
● 化学療法との併用療法の注意点	19
● まとめ	20
● 体調がすぐれないと感じたとき	22
● 治療日記・記入例	24
● 治療メモ	42

次ページ以降の   マークは以下を意味します



キイトルーダ[®]の単剤療法を
受けられる方のみお読みください



キイトルーダ[®]と化学療法の併用療法を
受けられる方のみお読みください

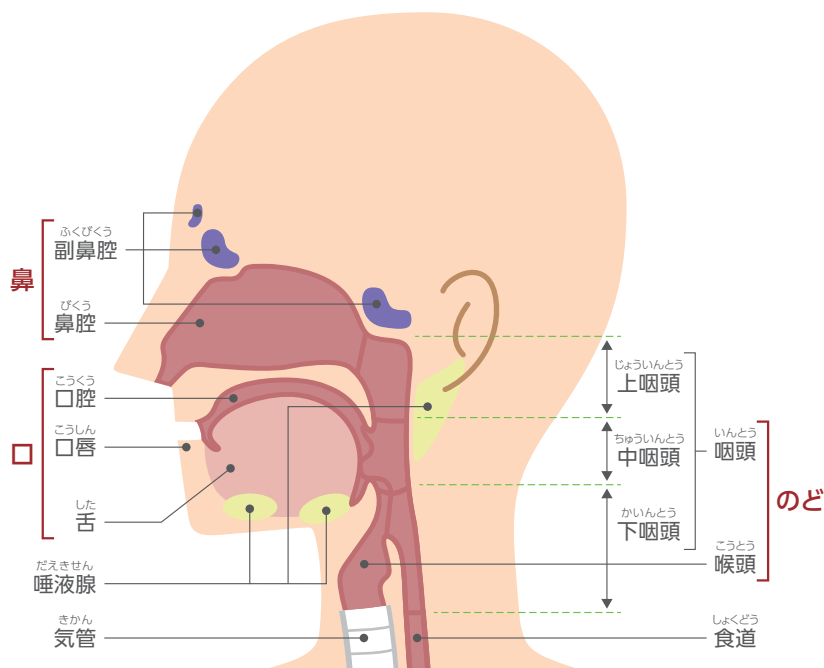
どちらのマークもない場合は、みなさんがお読みください

頭頸部がんについて

● 頭頸部がんとは

頭頸部(とうけいぶ)とは、鼻、口、舌、のど、あご、耳などを含む頭部から首までの範囲をさします(脳、眼球、歯をのぞく)。これらの器官は食事をする、呼吸をする、声を出す、聞くといった、日常生活を送る上で必要な行為と大きく関わっています。頭頸部に発生したがんをまとめて、頭頸部がんといいます。

頭頸部がんが発生する部位



1) 岸本誠司 他. がんを見逃さない-頭頸部癌診療の最前線, 中山書店, 2013

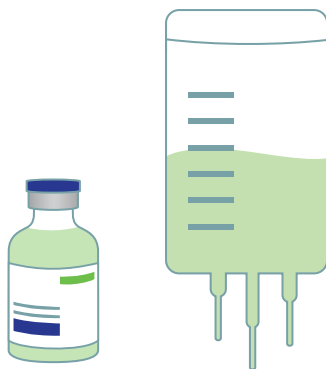
2) 渡邊一夫 他. からだにやさしい耳・鼻・喉・口・眼のがん治療, 近代セールス社, 2018

頭頸部がんにおけるキイトルーダ[®]

頭頸部がんに対する薬物療法として、あなたはキイトルーダ[®]による治療を受けます。

キイトルーダ[®]は免疫チェックポイント阻害薬と呼ばれる薬で、がん細胞に対するT細胞の攻撃を強めて治療効果を発揮します。

あなたの体の状態、病期などを総合的に考えて、キイトルーダ[®]のみで治療を行う単剤療法を受ける場合と、キイトルーダ[®]と化学療法の両方で治療を行う併用療法を受ける場合があります。

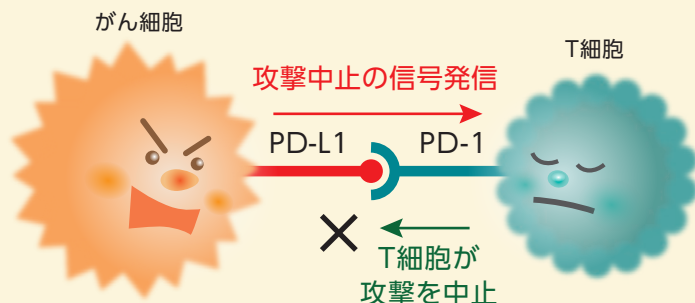


キイトルーダ®について

● がんが免疫機能にブレーキをかける仕組み

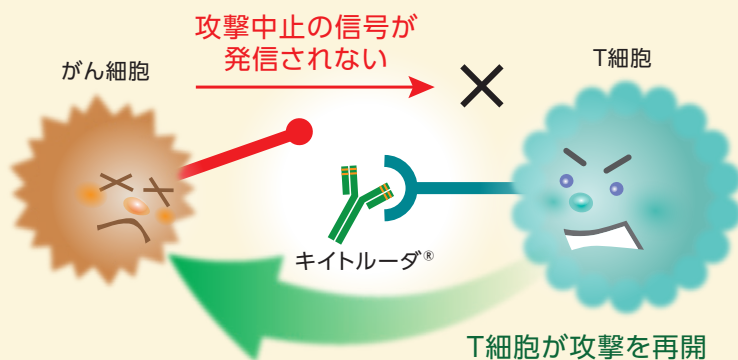
ウイルスや細菌などの異物に対する防御反応である免疫は、がん細胞に対してもはたらきかけます。最近、がん細胞は自身が増殖するために、免疫の一員であるT細胞に攻撃のブレーキをかける信号を送ることがわかってきました。つまり、がん細胞は免疫の機能にブレーキをかける仕組みを使って、T細胞の攻撃から逃れているのです。

ブレーキをかける信号は、がん細胞表面にあるPD-L1^{ビーティールワン}というたんぱく質がT細胞表面のPD-1^{ビーティールワン}というたんぱく質と結合することにより発信されます。



● キイトルーダ[®]について

キイトルーダ[®]は「抗PD-1抗体」とよばれる免疫チェックポイント阻害薬で、T細胞のPD-1に結合することにより、がん細胞からT細胞に送られているブレーキをかける信号を遮断します。その結果、T細胞が活性化され、抗がん作用が発揮されると考えられています。





キイトルーダ[®]と 化学療法の併用について

キイトルーダ[®]と化学療法の併用療法では、がん細胞に対するT細胞の攻撃を強める免疫療法のキイトルーダ[®]と、がん細胞を直接攻撃する化学療法(プラチナ製剤と5-FU)を組み合わせることで治療します。異なる作用の薬を使ってがん細胞を攻撃するため、双方の治療効果が期待できます。

● キイトルーダ[®]と併用する化学療法

プラチナ製剤(シスプラチン、カルボプラチン)

プラチナ製剤は、がん細胞のDNAのある部分に結合します。DNAが複製されるのを妨げ、がん細胞を死滅させたり、増殖を抑えたりします。

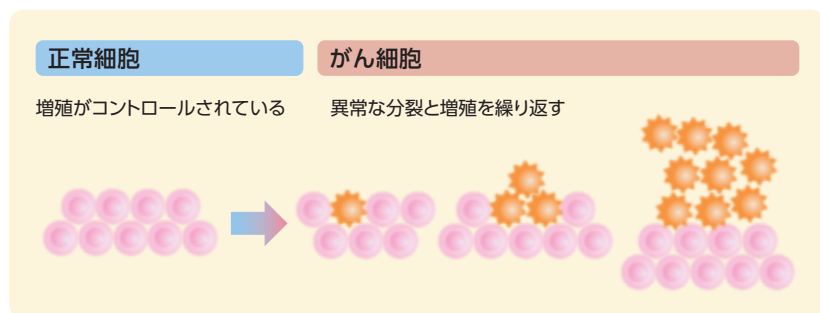
5-FU

がん細胞が増殖する際に行われるDNAの合成や機能を障害することにより、がん細胞の増殖を抑えたり、死滅させたりします。

● 化学療法について

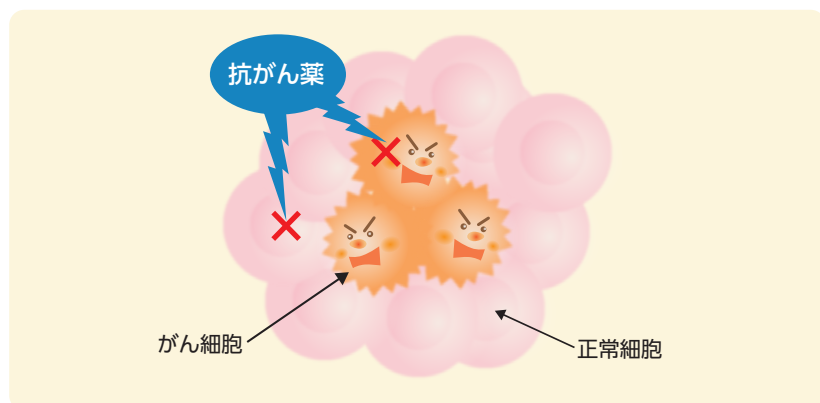
がん細胞の増殖

正常な細胞は、際限なく増殖することがないようにコントロールされていますが、なんらかの原因によりその遺伝子に変化(遺伝子変異)が起これば、細胞は異常な分裂と増殖を繰り返すようになります。このような細胞をがん細胞といいます。



化学療法について

殺細胞性抗がん薬による治療を化学療法といいます。化学療法は、活発に分裂しているがん細胞の増殖を阻止したりすることで、がん細胞を死滅させる治療です。がん細胞も正常細胞も攻撃します。



キイトルーダ[®]による治療の前に

- キイトルーダ[®]は、がんの治療に使われるお薬です。
- あなたの体の状態によっては、キイトルーダ[®]の治療が受けられないことがあります。

● キイトルーダ[®]に含まれている成分と同じ成分に対して、過敏症症状を起こしたことがある場合

【過敏症症状の例】

血圧の低下



意識障害



発疹



じんま疹



発熱



- キイトルーダ[®]による治療を始める前に、以下の項目に該当する方は、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

- ☒ 薬や食べ物にアレルギーがある
- ☒ 自己免疫疾患*に現在かかっているか、過去に自己免疫疾患にかかったことがある
- ☒ 間質性肺疾患**にかかっている、または以前にかかったことがある
- ☒ 現在、使用している薬がある
- ☒ 臓器移植または造血幹細胞移植[†]をしたことがある
- ☒ 結核に感染している、または過去にかかったことがある
- ☒ 妊娠している、または妊娠している可能性がある[‡]

*自己免疫疾患とは、本来自己には攻撃しないはずの免疫機能が、自分自身の身体や組織を攻撃してしまうことで生じる病態です。

例：膠原病（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎など）、クローン病、潰瘍性大腸炎、バセドウ病、橋本病、1型糖尿病など。

**「キイトルーダ[®]治療ハンドブック」をご参照ください。

[†]病気になった造血幹細胞（赤血球、白血球、血小板をつくり出す細胞）を健康な造血幹細胞と入れ替え、正常な血液をつくることができるようにする治療です。

[‡]胎児への影響や流産が起きる可能性があります。なお、キイトルーダ[®]による治療中にわかった場合も、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

❗ 他の診療科を受診するときには、必ずキイトルーダ[®]の治療を受けていることを知らせてください。キイトルーダ[®]の「治療日誌」あるいは「連絡連携カード」を示してお知らせするとよいでしょう。



キイトルーダ[®]と化学療法の 併用療法を受けられる方は以下もお読みください

- あなたの体の状態によっては、化学療法による併用療法を受けられないことがあります。
- **シスプラチン、カルボプラチンまたは5-FUに含まれている成分と同じ成分に対して、過敏症症状を起こしたことがある場合** [過敏症症状の例は左ページを参照ください]
- 併用療法を始める前に、以下の項目に該当する方は、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

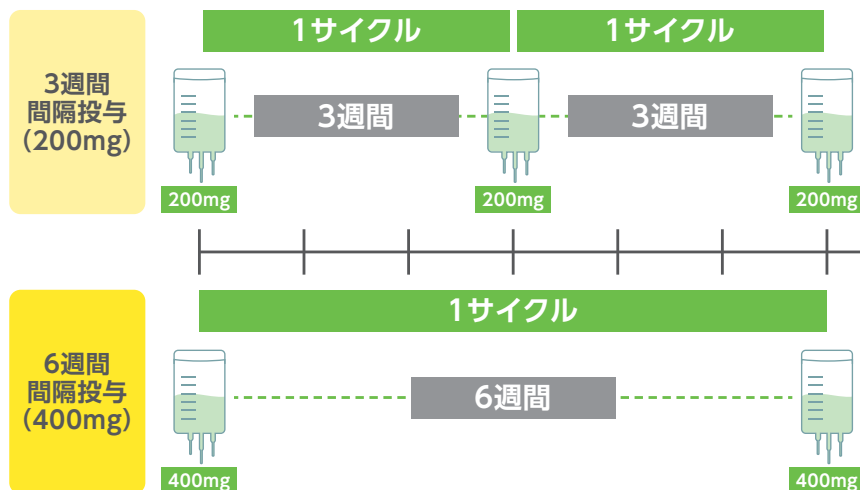
- ☒ 骨髄機能抑制、肝障害、腎障害、感染症がある
- ☒ 心疾患があるまたは既往歴がある
- ☒ 消化管潰瘍または出血、水痘(みずぼうそう)がある
- ☒ 聴器障害がある





キイトルーダ®の 治療スケジュール(単剤療法)

1サイクルのタイムスケジュール



キイトルーダ®は、3週間間隔(200mg)または6週間間隔(400mg)で投与それぞれ、3週間または6週を1サイクルとして、患者さんの体の状態をみ返していきます。各投与間隔は投与開始時に選択でき、治療経過中の切り

治療スケジュール

		1日目～	22日目～	43日目～
キイトルーダ®	3週間 間隔投与 (200mg)	1サイクル	2サイクル	3サイクル
	6週間 間隔投与 (400mg)	1サイクル		2サイクル

繰り
返し









キイトルーダ®は
30分間かけて点滴します。

繰り
返し

します。
ながら投与を繰り
替えも可能です。



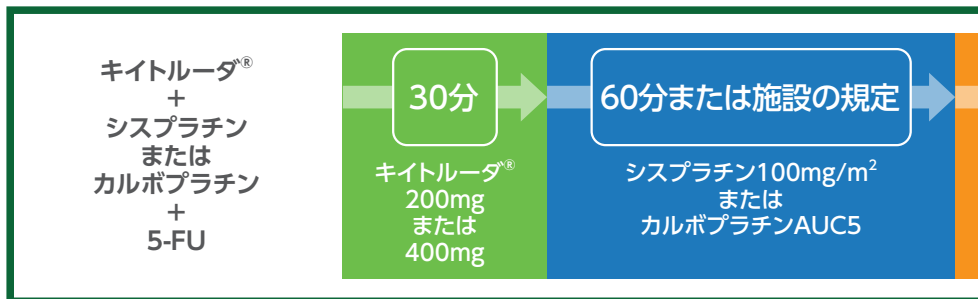
各投与間隔は投与開始時に選択でき、治療経過中の切り替えも可能です。

64日目～	85日目～	106日目～	127日目以降
 4サイクル	 5サイクル	 6サイクル	 7サイクル 以降 
	 3サイクル		 4サイクル 以降 



キイトルーダ[®]の 治療スケジュール (併用療法)

併用時の1サイクルのタイムスケジュール (例)



治療スケジュール

キイトルーダ[®]は、3週間間隔 (200mg) までは7サイクル以降、6週間間隔では4サイクル時に選択でき、治療経過中の切り替えも

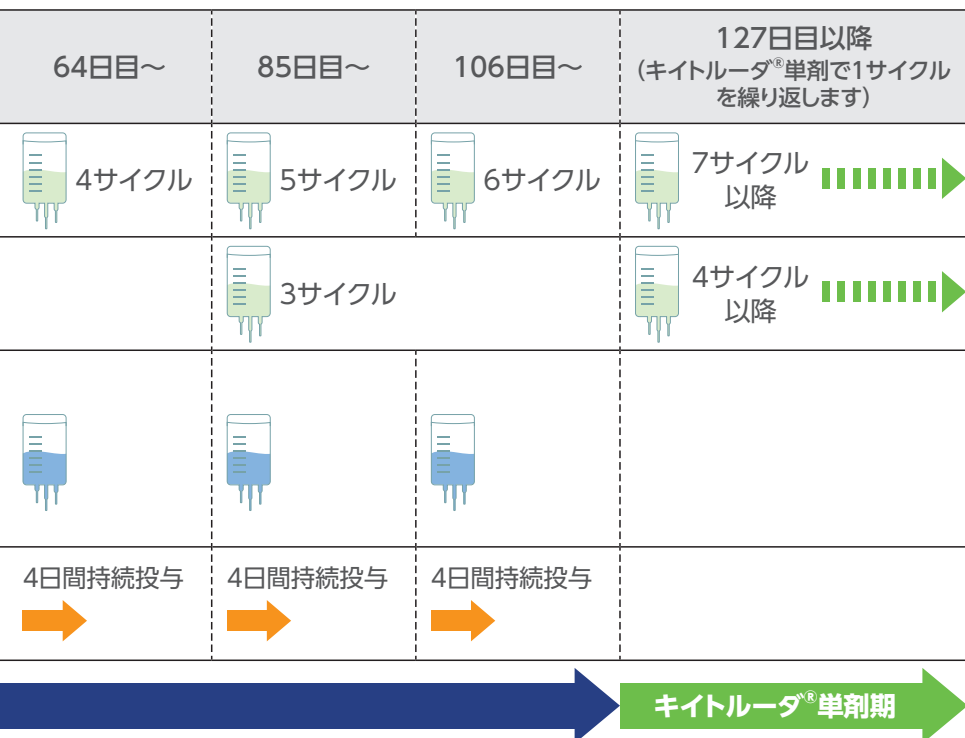
	1日目～	22日目～	43日目～
キイトルーダ [®] 3週間 間隔投与 (200mg)	1サイクル	2サイクル	3サイクル
キイトルーダ [®] 6週間 間隔投与 (400mg)	1サイクル		2サイクル
シスプラチン100mg/m ² または カルボプラチン AUC5			
5-FU 1000mg/m ² /日	4日間持続投与	4日間持続投与	4日間持続投与

化学療法併用期

キイトルーダ[®]は30分間かけて点滴します。
 その後でシスプラチンまたはカルボプラチン、および5-FUを点滴します。
 5-FUは4日間連続で点滴します。



または6週間間隔(400mg)で投与します。各投与間隔を1サイクルとして、3週間間隔
 クル以降からキイトルーダ[®]単剤でサイクルを繰り返します。各投与間隔は投与開始
 可能です。また、併用するお薬は3週間を1サイクルとして、6サイクルまで投与します。



キイトルーダ[®]による治療の注意点

● 点滴中の注意点(点滴中に起こる可能性のある副作用)

点滴中や点滴直後にアレルギーのような症状があらわれる「点滴時の
インフュージョン リアクション
過敏症反応 (infusion reaction)」が起こることがあります。

点滴中あるいは点滴後に下記のような症状があらわれた場合には、担当
の医師または看護師、薬剤師に連絡してください。

- ✓ 皮膚のかゆみ
- ✓ じんま疹
- ✓ 声がかすれる
- ✓ くしゃみが出る
- ✓ 喉のかゆみ
- ✓ 息苦しい
- ✓ 胸がドキドキする
- ✓ 意識がうすれる
- ✓ めまい・ふらつき
- ✓ 血圧の低下

※点滴終了後、1～2時間後に症状があらわれる
場合があるので注意してください。



キイトルーダ[®]の治療では下記のような場合に注意が必要です。


● 治療を始める前

キイトルーダ[®]の治療を始める前に、他の医療機関で治療を行っている疾患や服用している薬があれば、あらかじめ主治医に伝えておきましょう。

● 治療中、他の医療機関を受診する場合

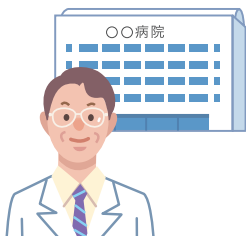
治療を始めてから、他の医療機関を受診する場合には、あなたがキイトルーダ[®]の治療を受けている主治医に相談しましょう。なお、相談し忘れてしまった場合でも、きちんと報告することが大切です。また、他の医療機関を受診したら、受診先の医療スタッフにもキイトルーダ[®]の治療を受けていることを知らせてください。

他の診療科や医療機関を受診します



あなたがキイトルーダ[®]の治療を受けている
診療科・医療機関

キイトルーダ[®]の治療を受けています



その他の診療科・医療機関

キイトルーダ[®]連絡携帯カードを
財布などに入れて
常に持ち歩くとよいでしょう。

キイトルーダ[®]による治療中
又は、治療経験のある患者さんへ

- ・他の医療機関や診療科を受診する時には、診察を受ける医師や看護師、薬剤師に必ずこのカードを見せてください。
- ・使用している薬があれば、すべての薬を医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

このカードは、常に持ち歩くようにしましょう

皆さんはキイトルーダ[®]による
治療経験があります。

tel ()

tel ()

科名

● 治療期間 年 月 日 ~ 年 月 日
● 投与間隔 ☐ 3週間間隔 ☐ 6週間間隔

MSD ※本カードは患者さんにお返しください。

キイトルーダ[®]の 特に注意すべき副作用

キイトルーダ[®]は、がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び活性化させるため、免疫がはたらき過ぎることによる副作用があらわれる可能性があります。

症状のあらわれ方には個人差があり、発見が遅れると重症化することや継続的な治療が必要となる場合があります。あらかじめ副作用の種類や症状を知っておくことは、副作用の早期発見と対処につながります。

安心して治療を続けていくためにも、次に挙げるキイトルーダ[®]の注意すべき副作用と症状をしっかりと確認しておきましょう。

キイトルーダ[®]の注意すべき副作用

- 間質性肺疾患
- 大腸炎・小腸炎・重度の下痢
- 重度の皮膚障害
- 神経障害
 - ギラン・バレー症候群等
- 劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎
- 内分泌障害
 - 甲状腺機能障害
 - 下垂体機能障害
 - 副腎機能障害
- 1型糖尿病
- 腎機能障害
- 膵炎
- 筋炎・横紋筋融解症
- 重症筋無力症
- 心筋炎
- 脳炎・髄膜炎・脊髄炎
- 重篤な血液障害
 - 免疫性血小板減少性紫斑病
 - 溶血性貧血
 - 赤芽球癆
 - 無顆粒球症
- 重度の胃炎
- ぶどう膜炎
- 血球貪食症候群
- 結核
- 点滴時の過敏症反応
インフュージョン リアクション
(infusion reaction)





化学療法との併用療法の 注意点

化学療法を併用する場合に特に注意すべき副作用

シスプラチン



5-FU

カルボプラチン



5-FU

キイトルーダ[®]による副作用の他に、化学療法を併用することにより、以下の副作用とそれに伴う症状があらわれる可能性があります。これらの副作用と症状もしっかりと確認しておきましょう。

- 骨髄機能抑制*1 (貧血、発熱、出血傾向など)
- 悪心・おう吐
- 口腔粘膜炎(口内炎など)
- 下痢
- 電解質異常*2 (けいれん、脱力など)
- 腎障害
- 末梢神経障害 (疼痛、知覚低下など)
- 聴力障害 (聴こえにくい、耳鳴りなど)
- 敗血症性ショック (発熱、動悸、息切れなど)

また、ワルファリンを併用していると薬物相互作用により、ワルファリンおよび5-FUの薬剤の効果が強まることがあるので注意が必要です。

*1 血液中の赤血球、白血球、血小板などが減少した状態です。

*2 血液中のナトリウムやマグネシウムが低下した状態です。

藤井正人 監修、頭頸部がん薬物療法ハンドブック改訂2版、中外医学社、2017

キイトルーダ®の副作用として予測され

頭痛 下垂体機能障害、脳炎・髄膜炎など

意識がうすれる 1型糖尿病、脳炎・髄膜炎など

見え方の異常 ぶどう膜炎

**まぶたが重い・
顔の筋肉が動きにくくなる** 重症筋無力症

**口の中や喉が渇きやすい・
多飲** 1型糖尿病

歯ぐきや口内の出血 免疫性血小板減少性紫斑病、
血球貪食症候群

くしゃみ 点滴時の過敏症反応

声のかすれ 甲状腺機能障害など

くちびるのただれ 重度の皮膚障害

咳 間質性肺疾患、心筋炎、結核

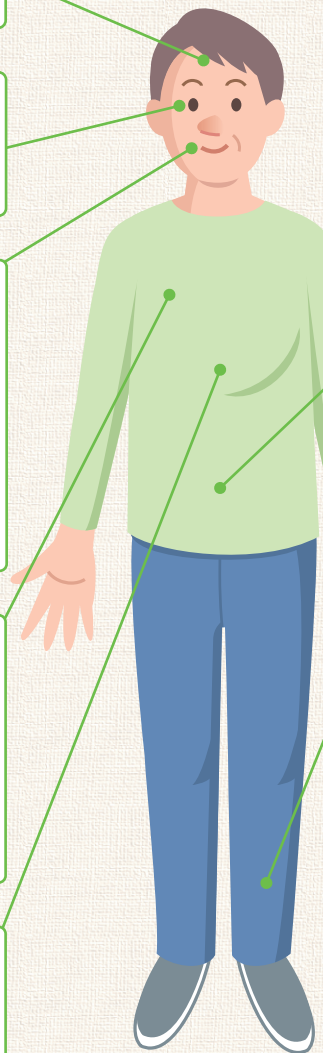
たん・血たん 結核

息切れ・呼吸困難 間質性肺疾患、ギラン・バレー症候群、
重症筋無力症、点滴時の過敏症反応、
心筋炎、溶血性貧血、赤芽球癆など

胸の痛み 心筋炎

吐き気やおう吐 大腸炎・小腸炎、副腎機能障害、
脳炎・髄膜炎、1型糖尿病、重度の胃炎など

食欲不振 劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎、
下垂体機能障害、副腎機能障害、
重度の胃炎など



る症状

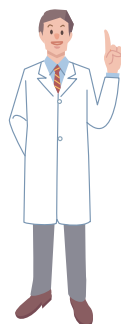
下痢	大腸炎・小腸炎など
ネバネバした便・血便	大腸炎・小腸炎
便秘	甲状腺機能障害、副腎機能障害、脊髄炎
腹痛	大腸炎・小腸炎、膵炎、1型糖尿病、硬化性胆管炎
トイレに近い	1型糖尿病
血尿	腎機能障害、免疫性血小板減少性紫斑病
尿量の減少・尿が出にくい	腎機能障害、脊髄炎

手足に力が入らない	ギラン・バレー症候群、筋炎・横紋筋融解症、重症筋無力症、脊髄炎
手指のふるえ	甲状腺機能障害など

全身

発熱	間質性肺疾患、大腸炎・小腸炎、腎機能障害、重度の皮膚障害、心筋炎、脳炎・髄膜炎、無顆粒球症、血球貪食症候群、結核など
疲れやすい・だるい	大腸炎・小腸炎、劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎、甲状腺機能障害、副腎機能障害、結核など
黄疸	劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎、膵炎、溶血性貧血
発疹などの皮膚症状	点滴時の過敏症反応、重度の皮膚障害、免疫性血小板減少性紫斑病、硬化性胆管炎、血球貪食症候群など
体重の減少	副腎機能障害、1型糖尿病、結核など
体重の増加	甲状腺機能障害、腎機能障害
むくみ	甲状腺機能障害、腎機能障害、心筋炎
けいれん	脳炎・髄膜炎、血球貪食症候群
しびれ	ギラン・バレー症候群

記載の症状やその他気になる体調の変化がある場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。



体調がすぐれないと感じたとき

がんの治療中は、がんそのものの影響や、薬の副作用などによって、体の不調を感じることがあります。つらい症状に適切に対処することは、治療を続けるために大切なことです。下記に日常生活のポイントを紹介します。

● 吐き気や食欲がないとき

食事や水分がとれないと、脱水になりやすいので注意が必要です。

- ▶ こまめに水分をとるようにしましょう。
- ▶ 体力を落とさないためにも、食べられる物や好きな物から少しずつ食べるようにしましょう。
- ▶ 吐き気が強いときは、刺激やにおいの強いものを避けましょう。



● 疲れやだるさを感じる時

治療中には、薬の副作用以外にも、不安やストレスなどの影響によって、疲れやだるさを感じることもあります。

- ▶ 規則正しい生活を心がけ、活動と睡眠の時間をバランスよくとりましょう。
- ▶ 自分が楽しいと感じる運動や趣味等を適度に取り入れ気分の転換をはかってみてはどうでしょうか。
- ▶ 一日ゆっくり休むなど、体調に合わせて過ごしてみましょう。



● それでも体調が悪いと感じるとき

強い疲れやだるさを感じるときは、無理をしないことと、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師に相談することが大切です。

- ▶ 気になる症状がある場合には、必ず診察時に担当の医師や看護師、薬剤師に伝えるようにしましょう。
- ▶ 体調が悪い状態が続く場合には、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師に相談するようにしましょう。



キイトルーダ®による治療で、特に注意すべき副作用と症状については「キイトルーダ®治療ハンドブック」でもう一度確認し、気になる症状が出たら、速やかに医師や看護師、薬剤師に連絡しましょう。

治療日記・記入例

日付(月/日)		第1週目						
		5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8
キイトルーダ®による治療を受ける方全員が記入する項目	キイトルーダ®点滴	○						
	診察	○						
	体温(℃)	36.7	37.3	37.5	37.3	36.8	36.5	36.5
	体重(kg)	65.0						
	頭痛	○						
	意識がうすれる							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	声のかすれ							
	咳							
	たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	吐き気やおう吐							
	食欲不振			○				
	下痢							
	腹痛							
	ネバネバした便や血便							
	便秘							
	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	むくみ							
	疲れやすい、だるい			○	○			
	黄疸							
	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	けいれん							
	しびれ							
方はご自身にも記入してください 化学療法との併用療法を受ける	シスプラチンまたはカルボプラチンの投与							
	5-FU点滴							
	発熱							
	物忘れ							
	脱毛							
	耳が聴こえにくい、耳鳴り							
	口内炎							
	多尿							
動作が緩慢								
そのほか、 気になる体調の変化		(5/4)微熱があり、解熱剤を飲んだ。						

体温はしっかり記録しましょう
毎日なるべく同じ時間に
はかるようにしましょう

その他の症状は、P.20-21「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」をご確認ください。
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

第2週目								第3週目					
5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22
36.7 65.0	36.8	36.4	36.5	36.8	36.8	36.8	36.8 64.5	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8
	○									○			
体重は定期的にはかりましょう													
		○				○	○	○			○		
								○					
		○	○	○									
						○	○					○	○
	○							○					

	日付(月/日)	第1週目						
		/	/	/	/	/	/	/
1 〜 3週	キイトルーダ®点滴							
4 〜 6週	診察							
	体温(℃)							
	体重(kg)							
	頭痛							
	意識がうすれる							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	口の中や喉が渴きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	声のかすれ							
7 〜 9週	咳							
10 〜 12週	たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	吐き気やおう吐							
	食欲不振							
	下痢							
	腹痛							
	ネバネバした便や血便							
13 〜 15週	便秘							
	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	むくみ							
	疲れやすい、だるい							
	黄疸							
16 〜 18週	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	けいれん							
	しびれ							
	シスプラチンまたはカルボプラチンの投与							
19 〜 21週	5-FU点滴							
	発熱							
	物忘れ							
	脱毛							
	耳が聴こえにくい、耳鳴り							
	口内炎							
	多尿							
22 〜 24週	動作が緩慢							
	そのほか、 気になる体調の変化							

その他の症状は、P.20-21「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」をご確認ください。
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

[illegible]

1
〜
3
週

4
〜
6
週

7
〜
9
週

10
〜
12
週

13
〜
15
週

16
〜
18
週

19
〜
21
週

22
〜
24
週

日付(月/日)		第4週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®による治療を受ける方全員が記入する項目	キイトルーダ®点滴							
	診察							
	体温(℃)							
	体重(kg)							
	頭痛							
	意識がうすれる							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	声のかすれ							
	咳							
	たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	吐き気やおう吐							
	食欲不振							
	下痢							
	腹痛							
	ネバネバした便や血便							
	便秘							
	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	むくみ							
	疲れやすい、だるい							
	黄疸							
	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	けいれん							
	しびれ							
化学療法との併用療法を受ける方はこちらにも記入してください	シスプラチンまたはカルボプラチンの投与							
	5-FU点滴							
	発熱							
	物忘れ							
	脱毛							
	耳が聴こえにくい、耳鳴り							
	口内炎							
	多尿							
	動作が緩慢							
	そのほか、 気になる体調の変化							

その他の症状は、P.20-21「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」をご確認ください。
 気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

[illegible]

1
〜
3
週

4
〜
6
週

7
〜
9
週

10
〜
12
週

13
〜
15
週

16
〜
18
週

19
〜
21
週

22
〜
24
週

日付(月/日)		第7週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®による治療を受ける方全員が記入する項目	キイトルーダ®点滴							
	診察							
	体温(℃)							
	体重(kg)							
	頭痛							
	意識がうすれる							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	口の中や喉が渴きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	声のかすれ							
	咳							
	たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	吐き気やおう吐							
	食欲不振							
	下痢							
	腹痛							
	ネバネバした便や血便							
	便秘							
化学療法との併用療法を受ける方はこちらにも記入してください	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	むくみ							
	疲れやすい、だるい							
	黄疸							
	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	けいれん							
	しびれ							
	シスプラチンまたはカルボプラチンの投与							
	5-FU点滴							
化学療法との併用療法を受ける方はこちらにも記入してください	発熱							
	物忘れ							
	脱毛							
	耳が聴こえにくい、耳鳴り							
	口内炎							
	多尿							
	動作が緩慢							
	そのほか、 気になる体調の変化							

その他の症状は、P.20-21「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」をご確認ください。
 気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

[illegible]

1
3
週

4
6
週

7
9
週

10
12
週

13
15
週

16
18
週

19
21
週

22
24
週

日付(月/日)		第10週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®による治療を受ける方全員が記入する項目	キイトルーダ®点滴							
	診察							
	体温(℃)							
	体重(kg)							
	頭痛							
	意識がうすれる							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	声のかすれ							
	咳							
	たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	吐き気やおう吐							
	食欲不振							
	下痢							
	腹痛							
	ネバネバした便や血便							
	便秘							
化学療法との併用療法を受ける方はこちらにも記入してください	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	むくみ							
	疲れやすい、だるい							
	黄疸							
	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	けいれん							
	しびれ							
	シスプラチンまたはカルボプラチンの投与							
	5-FU点滴							
化学療法との併用療法を受ける方はこちらにも記入してください	発熱							
	物忘れ							
	脱毛							
	耳が聴こえにくい、耳鳴り							
	口内炎							
	多尿							
	動作が緩慢							
	そのほか、 気になる体調の変化							

その他の症状は、P.20-21「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」をご確認ください。
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

[illegible]

1
3
週

4
6
週

7
9
週

10
12
週

13
15
週

16
18
週

19
21
週

22
24
週

日付(月/日)		第13週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®による治療を受ける方全員が記入する項目	キイトルーダ®点滴							
	診察							
	体温(℃)							
	体重(kg)							
	頭痛							
	意識がうすれる							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	口の中や喉が渴きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	声のかすれ							
	咳							
	たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	吐き気やおう吐							
	食欲不振							
	下痢							
	腹痛							
	ネバネバした便や血便							
	便秘							
化学療法との併用療法を受ける方はこちらにも記入してください	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	むくみ							
	疲れやすい、だるい							
	黄疸							
	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	けいれん							
	しびれ							
	シスプラチンまたはカルボプラチンの投与							
	5-FU点滴							
	発熱							
	物忘れ							
	脱毛							
	耳が聴こえにくい、耳鳴り							
	口内炎							
	多尿							
	動作が緩慢							
そのほか、 気になる体調の変化								

その他の症状は、P.20-21「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」をご確認ください。
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

[illegible]

1
3
週

4
6
週

7
9
週

10
12
週

13
15
週

16
18
週

19
21
週

22
24
週

日付(月/日)		第16週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®による治療を受ける方全員が記入する項目	キイトルーダ®点滴							
	診察							
	体温(℃)							
	体重(kg)							
	頭痛							
	意識がうすれる							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	声のかすれ							
	咳							
	たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	吐き気やおう吐							
	食欲不振							
	下痢							
	腹痛							
	ネバネバした便や血便							
	便秘							
化学療法との併用療法を受ける方はこちらにも記入してください	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	むくみ							
	疲れやすい、だるい							
	黄疸							
	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	けいれん							
	しびれ							
	シスプラチンまたはカルボプラチンの投与							
	5-FU点滴							
	発熱							
	物忘れ							
	脱毛							
	耳が聴こえにくい、耳鳴り							
	口内炎							
	多尿							
	動作が緩慢							
そのほか、 気になる体調の変化								

その他の症状は、P.20-21「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」をご確認ください。
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

[illegible]

1
3
週

4
6
週

7
9
週

10
12
週

13
15
週

16
18
週

19
21
週

22
24
週

日付(月/日)		第19週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®による治療を受ける方全員が記入する項目	キイトルーダ®点滴							
	診察							
	体温(℃)							
	体重(kg)							
	頭痛							
	意識がうすれる							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	声のかすれ							
	咳							
	たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	吐き気やおう吐							
	食欲不振							
	下痢							
	腹痛							
	ネバネバした便や血便							
	便秘							
化学療法との併用療法を受ける方はこちらにも記入してください	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	むくみ							
	疲れやすい、だるい							
	黄疸							
	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	けいれん							
	しびれ							
	シスプラチンまたはカルボプラチンの投与							
	5-FU点滴							
	発熱							
	物忘れ							
	脱毛							
	耳が聴こえにくい、耳鳴り							
	口内炎							
	多尿							
	動作が緩慢							
そのほか、 気になる体調の変化								

その他の症状は、P.20-21「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」をご確認ください。
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

[illegible]

1
3
週

4
6
週

7
9
週

10
12
週

13
15
週

16
18
週

19
21
週

22
24
週

日付(月/日)		第22週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®による治療を受ける方全員が記入する項目	キイトルーダ®点滴							
	診察							
	体温(℃)							
	体重(kg)							
	頭痛							
	意識がうすれる							
	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	声のかすれ							
	咳							
	たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
	吐き気やおう吐							
	食欲不振							
	下痢							
	腹痛							
	ネバネバした便や血便							
	便秘							
	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	むくみ							
	疲れやすい、だるい							
	黄疸							
	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	けいれん							
	しびれ							
化学療法との併用療法を受ける方はこちらにも記入してください	シスプラチンまたはカルボプラチンの投与							
	5-FU点滴							
	発熱							
	物忘れ							
	脱毛							
	耳が聴こえにくい、耳鳴り							
	口内炎							
	多尿							
	動作が緩慢							
	そのほか、 気になる体調の変化							

その他の症状は、P.20-21「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」をご確認ください。
 気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

[illegible]

次回受診時に医師や看護師、薬剤師に質問したいことや伝えたいことをメモしておきましょう。

記入例

1・2・3週

5月21日(土)～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

5月21日

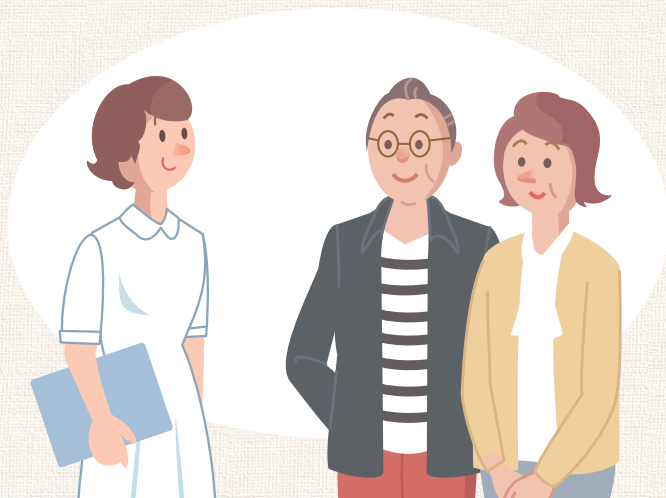
吐き気が辛くて、食欲がありません。どうしたら食べられるようになりますか？

医療従事者からのアドバイスメモ

- ・つらいときは無理せず、好きなものを好きなときに少しずつ食べる
- ・こまめに水分をとる

その後の経過

無理をしないようにしたら気分が楽になり、少しずつ食べられるようになってきました。



1・2・3週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....

.....

.....

.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その後の経過

.....

.....

.....

.....

4・5・6週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....

.....

.....

.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その後の経過

.....

.....

.....

.....

治療メモ

7・8・9週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....

.....

.....

.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その後の経過

.....

.....

.....

.....

10・11・12週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....

.....

.....

.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その後の経過

.....

.....

.....

.....

13・14・15週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....

.....

.....

.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その後の経過

.....

.....

.....

.....

16・17・18週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....

.....

.....

.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その後の経過

.....

.....

.....

.....

治療メモ

19・20・21週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....

.....

.....

.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その後の経過

.....

.....

.....

.....

22・23・24週

月 日()～ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

.....

.....

.....

.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その後の経過

.....

.....

.....

.....

●医療機関名

.....

●電話番号

.....

●担当医師名

.....

●緊急連絡先

.....

●治療期間

年 月 日 ～ 年 月 日

